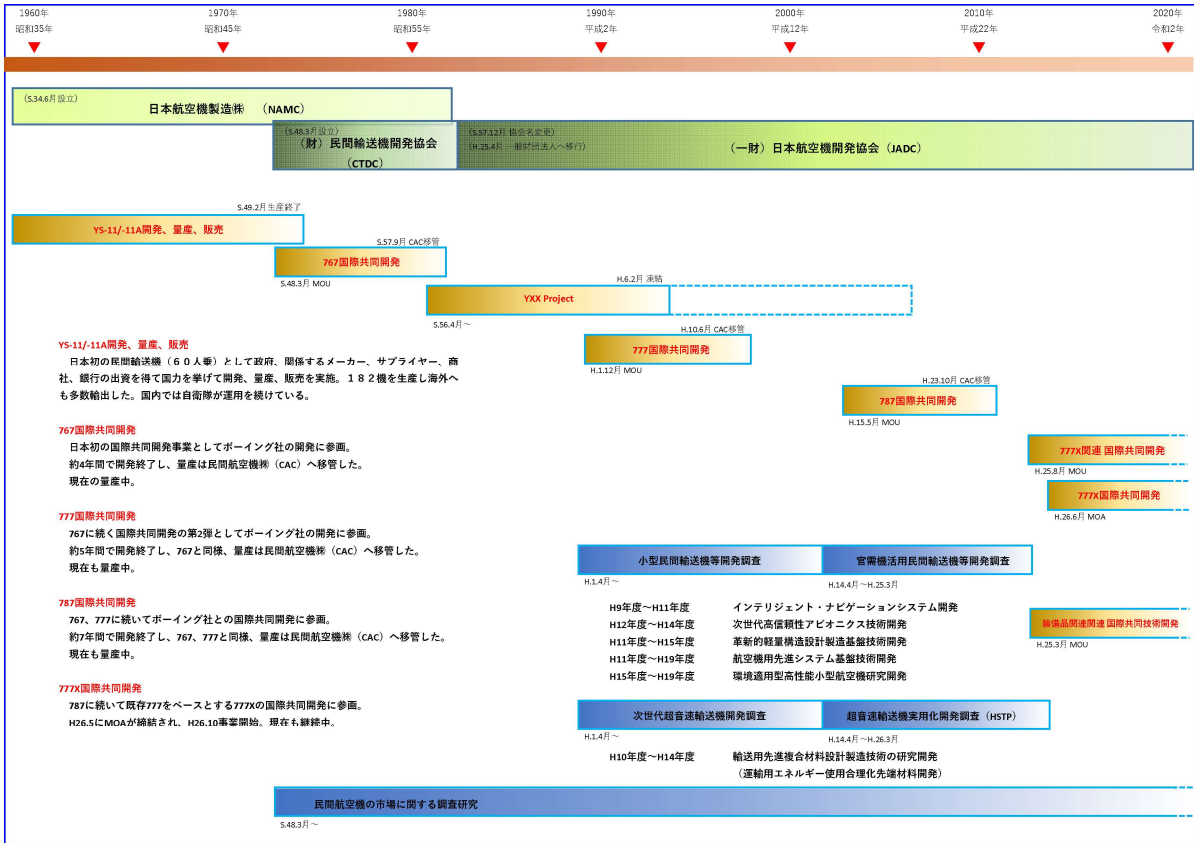


協会の歴史



YS-11/-11A開発、量産、販売

日本初の民間輸送機（60人乗）として政府、関係するメーカー、サプライヤー、商社、銀行の出資を得て国力を挙げて開発、量産、販売を実施。182機を生産し海外へも多数輸出した。国内では自衛隊が運用を続けている。

767国際共同開発

日本初の国際共同開発事業としてボーイング社の開発に参画。約4年間で開発終了し、量産は民間航空機機（CAC）へ移管した。現在も量産中。

777国際共同開発

767に続く国際共同開発の第2弾としてボーイング社の開発に参画。約5年間で開発終了し、767と同様、量産は民間航空機機（CAC）へ移管した。現在も量産中。

787国際共同開発

767、777に続いてボーイング社との国際共同開発に参画。約7年間で開発終了し、767、777と同様、量産は民間航空機機（CAC）へ移管した。現在も量産中。

777X国際共同開発

787に続いて既存777をベースとする777Xの国際共同開発に参画。H26.5にMOAが締結され、H26.10事業開始。現在も継続中。

官需機活用民間輸送機等開発調査

H.9年度～H.11年度	インテリジェント・ナビゲーションシステム開発
H.12年度～H.14年度	次世代高信頼性アビオニクス技術開発
H.11年度～H.15年度	革新的軽量構造設計製造基盤技術開発
H.11年度～H.19年度	航空機用先進システム基盤技術開発
H.15年度～H.19年度	環境適応型高性能小型航空機研究開発

次世代超音速輸送機開発調査

H.10年度～H.14年度	輸送用先進複合材料設計製造技術の研究開発 (運輸用エネルギー使用合理化先進材料開発)
---------------	---

民間航空機の市場に関する調査研究

S.48.3月～